

(様式1)

令和3年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	知・徳・体・情操を育み、調和のとれた人間の育成 ア 正しい判断のもとに主体的に行動する。 イ 利己心を抑制し、他人の立場を考えて行動する ウ 調和のとれた人格の形成と豊かな教養を身に付ける エ 健康で安全な生活を送る態度を身に付ける オ 感謝する心、美しさを感じる心を培う
(2) 現状と課題	本校の多くの生徒は純朴で素直である。しかし、学力的には多様な生徒が入学しており、様々な支援を必要とする生徒も増加傾向にあることから、生徒に自己肯定感や自己有用感を持たせるような指導が必要である。
(3) 重点目標	1 授業の充実
	2 生徒指導の充実
	3 キャリア教育の充実
	4 地域連携の推進
(4) 結果の公表	学校ホームページで結果を公開している。保護者にはアンケート集計結果と記述欄の回答を文書で配布している。

学校整理番号	39
学校名	青森県立三戸高等学校
全日制の課程	校舎
自己評価実施日	令和4年 1月24日(月)
学校関係者評価実施日	令和4年 2月17日(木)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員 4名

自 己 評 価				学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	一人一人の生徒が確かな学力を身に付けることができるよう、学習習慣の育成と学習内容の確かな定着を図る授業実践に努める。また、教員の専門性を高めるために研修に励む。	①授業第一主義 ②基礎学力定着に向けた教材の工夫 ③主体的・対話的で深い学びの実現を図る指導方法の工夫 ④ICTを利活用した授業実践 ⑤個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫 ⑥不断の授業改善と互見授業の常態化〔見える化〕	・コース別、選択科目別、習熟度別、個別指導やICT機器を活用できる環境作りを行いプロジェクター等を授業で活用できるようになり、進路達成や個々の学力の向上と深い学びの実現に繋がった。 ・スタディーサブリ活用により学習スタイルの幅が広がった。 ・教員対象にI-Padやスタディーサブリの利活用の研修等を実施し、実践的な活用方法を学び活用を始めた。	A	先生方には、コース別、個別指導、ICT環境の整備と利活用、総合的な探究の時間の取組等により、深い学びと個々の学力の向上に熱心に取り組んでいただいた。それらが3年生の進路達成に繋がったと思う。スタディーサブリの活用は教育の幅も広がり良いと思う。生徒の状況に応じた支援やICTを活用した幅広い授業の実践ができるよう今後一層の充実をお願いしたい。	コース別、選択科目別での学習指導において、4年生大学進学希望者へは一般入試でも困らない実力をつけるべく学習指導の充実に移る。また、コロナ禍等で休業や欠席が続く生徒に対する学習の遅れへの対応策を充実させる。
2	一人一人の生徒が豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会と連携を図り、生徒理解を深めるとともに道徳性の育成に努める。	①基本的な生活習慣(特に挨拶)や自己指導能力の育成 ②生徒指導の機能を生かした学年・学級経営の充実 ③生徒理解に基づいた教育相談と特別支援教育体制の充実 ④問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応の徹底〔最初の一手〕	・毎朝の登校指導や定期的に校外指導を実施し服装指導や挨拶の励行に努めた結果、外部からの苦情もなくなった。 ・いじめアンケートを年5回実施し積極的な認知を行い、生徒の悩み等にも学年と養護教諭と連携し早期に組織的に対応することができた。 ・新型コロナウイルス対策に団結して取り組むことができている。	B	先生方の熱心な指導により、新型コロナウイルスが出ていないし事故非行が起っていない。学校全体で生徒の見届けができていて問題の未然防止や早期発見・解決につながり大変良いと思う。挨拶も数年前より元気にできるようになった。今後も家庭との連携を図り、生徒に寄り添った指導をお願いしたい。	インスタグラムへの書き込みによる生徒同士の誹謗中傷が毎年あるので、来年度の指導を工夫したい。
3	一人一人の生徒が自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう必要な資質・能力・態度の育成に努める。	①3年間、その先を見通した系統的なキャリア教育指導体制の充実 ②進路探究の充実(インターンシップ、企業見学会、進路ガイダンス、オープンキャンパス、二者・三者面談)	・学年と進路指導部のみならず学校全体でキャリア教育を進めていく体制がほぼ確立し、3年生に対する指導は進学も就職も結果を残すことができた。現在国公立大・短大7名 ・インターンシップやオープンキャンパスは実施できなかったが、学年と連携し提案を実施し学年毎のキャリア形成学習を目的に沿って実施することができた。	A	先生方の熱心な取組により、キャリア教育の体制が整い、特に3年生の進路指導では国公立大学に6名が合格するなど2月上旬に多くの生徒の進路が決定し近年にない成果を収めることができた。キャリア教育はコロナ禍でも工夫して充実した指導ができておりこれまでの取組が実を結んだ結果が出ている。今後も生徒の進路目標達成のために、関係機関と連携し一層の指導の充実をお願いしたい。	一層の進路指導の充実を図り、中でも、4年生大学進学希望者へは一般入試でも困らない実力をつけるべく学習指導の充実に移る。
4	小中高等連携や様々な体験活動を通して広く人間教育を行い、地域とともに歩むことができる能力と態度の育成に努める。	①産官学の取組・SANNOWA、CO-WORKSとのコラボ・チャレンジショップ・各種ボランティア活動への参加・中高連絡協議会等 ②総合的な探究の時間でのSDGsの取組 ③学校魅力化からの取組・町の補助金の有効活用・各種コンテストへの応募	・コロナ禍ではあったが三戸小寺子屋や総合的な探究の時間等の機会を活用しSDGsをテーマに持続可能な町づくり等を課題に探究と体験活動を行い、協働する力を養い、地域との連携をより深め、郷土を愛する心、豊かな心を育むことができた。 ・町の支援を受け多くの生徒が資格取得に挑戦し成果を収めた。また、町外の生徒の定期代の半額補助や部活動の東北大会出場の際の生徒分の補助等町の積極的な本校魅力化の取組が行われた。	B	様々な取組から地域との連携が充実していると思う。特に「三戸小学校寺子屋」は、小学生と高校生が触れ合えることもあって大変喜ばれていると聞いている。また、町の補助を活用した資格取得についても、今後も多くの生徒に活用してもらいたい。学力も大事だが、部活動の魅力もあり、様々な体験もできる魅力ある学校になってほしい。	これからも地域と連携して学校の魅力化に取り組みたい。

(11) 総括	今年度は、現在まで新型コロナウイルス感染者が無く、3年生の進路では国公立大学に6名が合格し2月上旬でほぼ全員が希望する進路を達成しており、コロナ禍での先生方の努力や取組が実を結んだ。今後も学校や生徒の目標達成のため、地域、生徒、保護者、教員が連携を図り、生徒が学校生活を充実していける環境を整備していく。
---------	--